

株主のみなさまへ

2007.4.1~2008.3.31

第109期 報告書

NTN 株式会社
証券コード | 6472



Profile

NTNのルーツ

1918年(大正7年)、三重県桑名郡桑名町内堀で、21歳の若い技師西園二郎氏が家業として西園鉄工所を起業した。当時、輸入品に限られていたボールベアリングの国産化に関心を持った西園氏は、その研究試作を始めていた。一方、1922年(大正11年)、大阪の機械工具商丹羽昇氏の経営する巴商会は事故で水没したスウェーデン船の積荷だったベアリングを買い取り、再生販売を行った。丹羽氏は西園鉄工所にベアリングの製造を要請し、丹羽・巴・西園の頭文字をとり「NTN」を商標に、製造・販売の事業がスタートした。NTN (For New Technology Network) のルーツはNiwa Tomoe Nishizononにあった。



創業者
西園 二郎



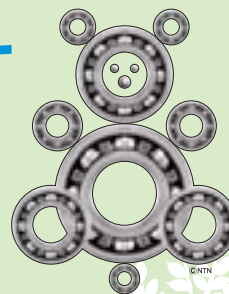
初代社長
丹羽 昇

経営の基本方針

当社は「新しい技術の創造と新商品の開発を通じて国際社会に貢献する」を経営の基本理念とし、独創的技術の創造、顧客満足度(技術・サービス)の向上、グローバル化の推進と国際企業にふさわしい企業形態への変革を進めるとともに、環境への負荷低減及び資源循環型社会の構築を目指しております。

創業以来、産業の発展に貢献し続けています。

1918年の創業以来、あらゆる産業の発展に欠かせない製品を市場に供給し続けています。ベアリングのうち、自動車向け商品であるアクスルベアリングでは、SNR社(フランス)が連結対象となる2009年3月期には、世界ナンバーワンのシェアを達成する見込みです。



アクスルベアリング
シェア

世界第 1 位

※2008年4月時点。SNR社含む。

等速ジョイントシェア

世界第 2 位

ベアリングシェア

世界第 3 位

※2008年4月時点。SNR社含む。



>>> p3

NTNのトップが考える企業戦略や将来の方向性を理解したい

トップインタビュー／NTNの歩み

2007年4月から始まった中期経営計画「創成21」のもと、ゼロベースからの改革に取り組み、当期において5期連続で最高益を更新したNTN。ここでは、経営状況や「創成21」の進捗についてご説明します。また、1918年の創業からの当社の歩みについても紹介しています。

>>> p7

NTNの当期の活動について知りたい

2008年3月期の出来事／コラム

新研究開発センターの着工や工場増設、海外への積極的な事業展開や製造拠点設立など、NTNが2008年3月期に記した“足あと”をご紹介します。

>>> p9

NTNの製品はどんなものなのか、どこで役立っているのかを知りたい

事業部門別概況／なるほど、ここにもNTN。

自動車、風力発電、医療機器からデジタル家電まで。身近なものに組み込まれ、社会を支えるNTNの製品。ここでは、ベアリングや等速ジョイントをはじめとしたNTN製品がどんな所で役に立っているのかをご紹介します。

>>> p12

NTNの海外での事業活動について知りたい

地域別売上高の概況

NTNの活動範囲は、まさしく全世界。アメリカで、ヨーロッパで、そしてアジアで日々拡大するNTNのグローバル・ビジネスについてご説明します。

>>> p13

NTNの当期の業績概況、財務内容をより詳しく理解したい

連結・個別財務諸表

財務諸表は、1年間の企業活動の集大成。NTNの2008年3月期の決算概況を、財務数値やグラフ、ショートコメントを通じてご覧ください。

>>> p16

NTNが取り組んでいる環境活動について知りたい

地球環境との共生

環境への配慮は、NTNの最重要課題です。ここでは、NTNが手掛けている環境問題へのさまざまな取り組みについてご紹介します。

>>> p17

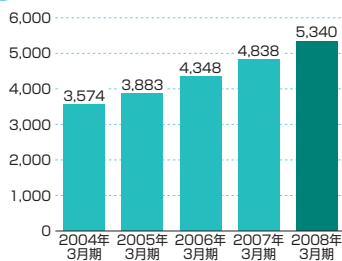
NTNに関する基本情報について確認したい

会社情報／株式情報／株主メモ

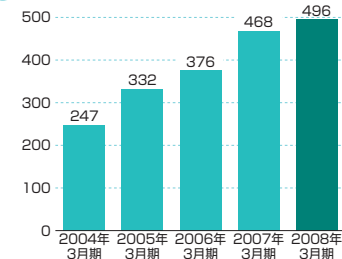
NTNの基本データや役員一覧、大株主一覧や株価の推移などを掲載しています。

決算ハイライト

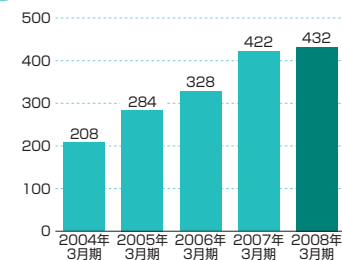
売上高(億円)



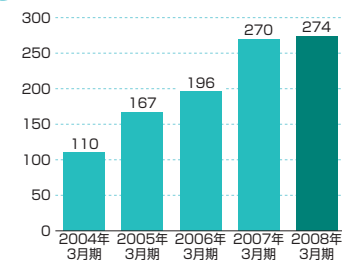
営業利益(億円)



経常利益(億円)



当期純利益(億円)



トップインタビュー

6期連続増収増益、5期連続最高益を更新



はじめに当期の経営成績についてお聞かせください。



代表取締役会長 鈴木 泰信 代表取締役社長 近藤 達生



当期は、3年間の中期経営計画「創成21」の初年度として計画達成に向け、更なる積極的な販売活動や徹底したコスト削減活動を通じて企業価値向上に取り組んでまいりました。

この結果、当期の業績につきましては、売上高は533,984百万円（前期比10.4%増）となりました。利益につきましては、販売価格の低下や原材料価格の高騰などがありましたが、販売増やコスト削減の推進により、営業利益は49,611百万円（前期比6.0%増）となり、経常利益は43,231百万円（前期比2.4%増）となりました。なお、特別利益として退職給付信託設定益4,073百万円、特別損失として製品補償引当金繰入額1,700百万円、事業再編費用529百万円、過年度関税等支払額762百万円を計上し、当期純利益は27,431百万円（前期比1.5%増）となりました。

NTNの歩み

1918年



三重県桑名郡桑名町内堀の西園鉄工所でボールベアリングの研究製作を開始。

1927年



ベアリング専門の製造販売会社として、資本金5万円の合資会社エヌシーエヌ製作所を設立。

1937年



社名を東洋ベアリング製造株式会社に変更。また純国産飛行機「神風号」にNTN製ベアリングが使われ、東京・ロンドン間94時間17分56秒の世界記録の樹立に貢献した。



新中期経営計画「創成21」の進捗状況と今後の課題について お聞かせください。



昨年4月から3年間を中期経営計画「創成21」として、これまで実施してきた投資の早期回収による資産効率の向上を図り、一方で更なる成長に向けた投資により事業の継続的發展を図ることで、企業価値を創造することを最重点課題とします。そのためには、全ての従業員が従来のやり方にとらわれることなく、自ら考えて新商品や新技術を創造して成果を出し、成長することを「創成21」の基本方針とします。

（営業・技術関連の施策）

営業・技術関連の施策につきましては、更なる品質の向上、提案力の強化及び開発のスピードアップなどによってNTNブランド価値の向上を図るとともに、本年4月に連結子会社となったSNR社（フランス）との技術力、営業力の融合によるシナジー創出を図ります。長期的な技術の優位性確立に向け、本年12月に桑名地区に新たな研究開発センターを建設し、商品競争力の源泉である要素技術の蓄積と産業機械向け商品の研究開発機能を強化します。新た

な材料や表面創生の研究などを通して、環境、安全、快適をテーマに人々の生活を支える独自商品の開発を強化するとともに、特許網の構築を通して知的財産の保護と活用の強化を図ります。産業機械向けでは、風力発電、建設機械、鉄道車両、航空機、工作機械など地球環境の保全や資源開発などを背景とした旺盛な需要に対応し、大形軸受・精密軸受を中心にグローバル市場で販売拡大を図ります。自動車向けでは、最先端のセンサ技術を活用したアクスルベアリングの開発、新たな等速ジョイント「V (Value) シリーズ」の開発など、更に商品ラインナップを拡大し市場要求に対応してまいります。

1954年



1962年



1963年



1971年



1972年



品質管理優良会社を称えるデミング賞をわが国機械工業界で初の受賞を受ける。製品の品質がいかに信頼できるかを名実ともに実証した。

ドイツ・デュッセルドルフ市に現地法人販売会社NTN Wälzlager(Europa)G.m.b.H.を設立。

イギリスのハーディー・スパイサー社と技術提携し、等速ジョイントの生産を開始。従来のクロス型ユニバーサルジョイントの欠陥をなくす画期的な製品として技術を導入した。

アメリカ・イリノイ州に軸受の製造会社AMERICAN NTN BEARING MFG.CORP.（シラーパーク工場）を設立。海外工場での第一号となった。

エヌ・テー・エヌ東洋ベアリング株式会社に商号変更する。写真は当時の社屋。

「創成21」の概要と目標

新中期経営計画「創成21」の概要 (2007年4月～2010年3月)

○「創成21」とは

「創成」は新たな企業価値を“創造”し、更なる“成長”を続け、大きな“成果”を得ることを意味し、過去の成功体験に基づいて考えるのではなく、原点に立ってゼロから考えるNTNの革命であり、新たな出発点であると位置付けています。

「創成21」では、以下の点において、攻めと守りのバランスを重視していきます。

- ◆資産効率向上による更なる企業価値の創造を実現する。
- ◆更なる成長に向けた投資により事業強化を図る。
- ◆全ての従業員が自分でものを考え、新しいものを創造し、成果につなげ、自らも成長する。

○「創成21」が目指すもの

NTNブランド価値の向上を通じ
企業価値の向上を図る

- (1) 安全・品質意識の向上
- (2) 製品・商品の信頼性の更なる向上
- (3) 知的所有権の強化・拡充
- (4) 団塊の世代による技術・技能の伝承
- (5) 商品力・サービス力・技術力による差別化

●顧客、従業員、社会、株主などすべてのステークホルダーの価値向上を目指します。

- ◆社会のための価値
- ◆従業員のための価値(「ひと作り」を通じて実現)
- ◆顧客のための価値(「もの作り」を通じて実現)
- ◆株主のための価値

代表取締役会長
鈴木 泰信



(生産関連の施策)

生産関連の施策につきましては、人・設備・材料及び方法を徹底的に見直し、生産効率の飛躍的向上を目指す「ひと・もの作り革命」の推進が重点施策であり、技術・技能の伝承による「ひと作り」を重視し、品質管理力、設備開発力などを含む総合的な生産技術力を更に強化してまいります。日本国内では、大形軸受をはじめとする産業機械向け軸受の需要増に対応するため、桑名地区では桑名製作所の生産能力増強や株式会社NTN三重製作所第2工場の操業開始など、生産再編成を進めております。また、風力発電用軸受などの生産対応として昨年11月より株式会社NTN羽咋製作所(石川県)の操業を開始し、本年4月には株式会社NTN宝達志水製作所(石川県)を設立しました。アクスルベアリングでは、本年2月より株式会社NTN紀南製作所第2工場(和歌山県)が操業を開始し前工程の能力増強を図りました。今後新拠点それぞれで早期の安定稼働を図ります。海外では、成長が期待されるBRICs諸国をはじめとする新興市場で積極的に事業強化を行います。本年1月には中国で鉄道車両用軸受を製造・販売する南京浦鎮恩梯恩鐵路軸承有限公司の操業を開始しました。また、インドにおける等速ジョイントの生産拡大、SNR社のルーマニア工場とブラジル工場の活用など自動車需要への対応を強化してまいります。

1975年



アメリカ・イリノイ州にアメリカ第二工場としてNTN ELGIN CORP.を設立。1985年AMERICAN NTN BEARING MFG. CORP.に合併し、同エルジン工場となる。

1986年



わが国初の航空宇宙軸受専門工場を桑名製作所内に建設。写真は航空宇宙用軸受。

1989年



社名をエヌ・テー・エヌ東洋ベアリング株式会社から現在のNTN株式会社に変更。

企業価値の向上 (Corporate Value)



(収益体質の強化施策)

収益体質の強化施策につきましては、グローバルな事業拡大に伴いVA・VEの推進及びグローバル調達や現地調達の拡大によるコスト削減に継続的に取り組みます。また「もの造り革命」の推進により、棚卸資産回転率や設備稼働率を向上させ、更なる資産効率改善を図ります。企業の社会的責任 (CSR) の重要性を認識し、グループ全体の内部統制システムの構築や、コンプライアンス (企業倫理) の徹底、リスクマネジメント体制の一層の強化に取り組んでおります。環境的側面では、人・環境にやさしい商品 (環境対応型商品) の開発と販売拡大、環境規制物質撤廃への取組みに加え、新工場建設に際しては風力発電や太陽光発電などの自然エネルギーの積極的活用、省エネ機器・省エネ加工設備の導入により、CO₂削減と環境負荷低減の活動を推進しております。



株主の皆様へのメッセージをお願いします。

当期の期末配当金につきましては、1株につき金10円 (SNR 子会社化に伴う記念配当1円を含む) とさせていただきます。また年間配当金は、1株当たり19円 (中間配当金9円を含む) と前期より3円の増配とさせていただきます。

当社は、ビジョンとして掲げた「社会に貢献する企業」、「人を活かす企業」、「世界NO.1事業を有する企業」をより具体化し、拡大路線を継続しスピードを上げて2015年度には、1兆円企業を目指すとともに、更なるNTNブランドの向上と株主の皆様への利益還元に努めてまいります。

株主の皆様には、今後ともご支援とご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。

● 通期の業績見通し

(億円)

	次期(見通し) 2009年3月期	当期(実績) 2008年3月期
売上高	6,500	5,340
営業利益	510	496
営業利益率	7.8%	9.3%
経常利益	450	432
当期純利益	280	274

1998年



RENAULT (ルノー) 社と合弁で等速ジョイント製造会社 NTN TRANSMISSIONS EUROPEをフランス ル・マン市に設立。

2002年



中国で、流体動圧軸受ユニットの生産で合弁会社、等速ジョイントの部品・軸受製造合弁会社、裕隆グループ(台湾)と合弁で等速ジョイント製造合弁会社を相次いで設立。

2004年



リードタイム、コストで中国に負けない、日本国内での軸受製造のモデル工場として株式会社NTN三重製作所を設立。

2006年



ドイツIFAグループの等速ジョイント製造会社であるIFA-Antriebstechnik G.m.b.H.社に資本参加し、欧州での等速ジョイントの展開を加速させる。

2008年



4月にRENAULT (ルノー) 社の子会社、SNR ROULEMENTS社を連結子会社化。写真のルーマニア工場などを活用し、自動車需要への対応を強化。

Flash Back

2008年3月期の出来事

2007・2008



新中期経営計画「創成21」がスタート

2007年3月に終了した中期経営計画「飛躍21」に引き続き、2007年4月から2010年3月までの3年間の中期経営計画「創成21」をスタートさせました。NTNブランド価値の向上を通じて企業価値の向上を目指し、長期ビジョンとして2015年度に売上高1兆円を突破し、業界での確固たる地位を確保することを目標にしています。

第108期定時株主総会を開催

6月28日、当社のホールにて開催いたしました。初めてビジュアル化を実施し、株主の皆様へ報告内容の一部を説明し、また「創成21」の展開を実写したビデオ放映をいたしました。また、新商品展示も行い、株主の皆様へ直接商品をご覧いただきました。



新桑名研究開発センター(仮称)の新設を発表

主力工場である桑名製作所や現在の桑名研究開発センターの近隣に位置する「桑名ビジネスリサーチパーク」内に新たに「新桑名研究開発センター(仮称)」を建設します。



太陽光・風力発電機、クールピットによる省エネルギー、屋上緑化の設置などをし、環境面に配慮した建物とします。また、自社開発した免震装置を用いた免震構造にし、阪神・淡路大震災クラスの地震に備えるだけでなく、桑名地区事業場の防災センターとしての危機管理機能をもたせませす。

完成予想図

研究本館

実験棟

10月

9月

8月

7月

6月

5月

4月

2007

南京浦鎮恩梯恩鐵路軸承有限公司を設立

中国の南京浦鎮車両廠と鉄道車両用軸受を製造・販売する合弁会社を設立しました。NTNの技術力と南京浦鎮車両廠の製造及び販売力を活かす、品質・価格・納期・サービスなどの競争力を高め、中国鉄道車両ユーザへ高品質の軸受を供給します。



株式会社NTN紀南製作所 第2工場(和歌山県)を設立

現在操業中の株式会社NTN紀南製作所に
当社の戦略商品であるアクスルベアリングの
事業拡大に向け、第2工場を新設いたしまし
た。BRICsを中心とした自動車業界の好調な業況により、自動車関係部品の
需要が急増しており、旺盛な需要に対する生産に対応していきます。



完成予想図

2008

12月

11月

1月

2月

3月

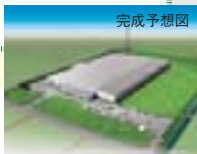
株式会社NTN宝達志水 製作所(石川県)の設立を発表

石川県羽咋郡に株式会社NTN宝達志水
製作所の設立を発表。当社の戦略商品の
一つである超大形軸受の中核会社として
生産体制を強化いたします。地球環境保
全を目的とした自然エネルギーの活用で
大型の建設機械や風力発電装置をはじめ
とした超大形軸受を使用する設備の需要
拡大に対応していきます。



WRC(世界ラリー選手権)の スポンサー契約を締結

F1と並ぶモータースポーツ最高峰の世界ラリー選手権であ
るWRCで、2008年度シーズンより世界戦略車のSX4で参
戦するスズキ株式会社とスポンサー契約を結びました。初
戦のモンテカルロから最終ウェールズまでの15戦が行われ
ます。NTNはスポンサーとして、スズキのレース車両5ヶ所、
ドライバースーツ、チームウェアやトランスポーターにNTNロ
ゴを掲出しています。



完成予想図



COLUMN

ベアリングは縁の下の力持ち!



物を動かそうとする
際、押しとどめよう
とする反対の力が
働きます。この抵抗

力を摩擦力と呼び、接触する二つの物体の間に発生し、物の
重さに比例して大きくなります。それに対して物の下に玉など
を入れるとその抵抗力が小さくなる原理を利用し、古代エジ
プト時代、巨大なピラミッドの建設時には石の下に「コロ」を
置き、重い石を軽く運んでいたようで、壁画に当時の様子
がうかがえます。日本では城の建設時に石の下に太丸太棒の
「コロ」を敷き、巨石を運んだそうです。

ベアリング(bearing)のベア(bear)とは英語で支えるという
意味があります。回転部分には欠かせない部品で、回転時の
摩擦によるエネルギー損失を低減する「エコ部品」として、人
目にはつかない身近なところで縁の下の力持ちとしてたくさ
ん活躍しています。

ベアリングは大きく分けてボールベアリングとローラベア
リングがあり、内輪・外輪・転動体・保持器から出来ており、転
動体には高速回転に向いている「タマ」と重い力がかかるこ
ろで使われる「コロ」があり、「コロ」の形状にはベアリング
の使用箇所によって色々な種類があり
ます。また、「タマ」に凹凸やひずみ
があるとスムーズに回転しないので、
“まんまる”であることが重要です。ベ
アリングの「タマ」は地球上で最も完
全に近い“まる”だったことをご存知
でしたか?



ボールベアリングの構造

軸受

日本・欧州・米州で風力発電向け大形軸受が好調

一般産業機械向けでは、日本で建設機械や風力発電向け、米州、欧州地域で風力発電向けなどの大形軸受が好調でした。アジア他地域では、中国で事務機向け軸受が好調であり、タイでハードディスクドライブ（HDD）モータ向けの流体動圧軸受が大幅に増加しました。また、自動車向けでは欧州地域、中国でアクスルベアリングやニードルローラベアリングが好調であり、日本、米州、アジア他地域でアクスルベアリングが好調でした。この結果、売上高は338,452百万円（前期比10.2%増）となりました。

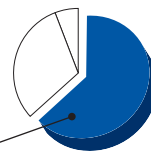
事業解説

主力商品である軸受は機械の回転部分を支えて摩擦を軽減する部品です。自動車の場合、1台当たり約100個もの軸受が使われています。また、NTNのオンリーワン商品としてHDD用の流体動圧軸受の市場展開に成功しました。

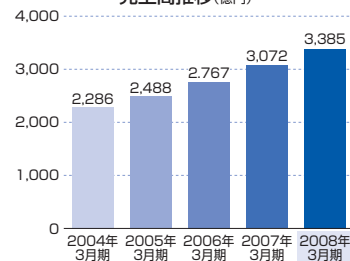
軸受主要製品

- ◎ボールベアリング
- ◎ローラベアリング
- ◎アクスルベアリング
- ◎ベアリングユニット
- ◎大形ベアリング
- ◎精密ベアリング
- ◎流体動圧軸受
- ◎滑り軸受
- ◎その他の各種ベアリング

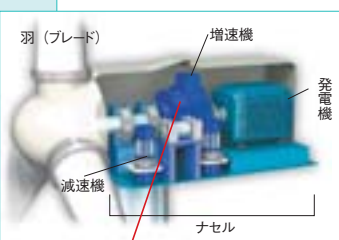
2008年3月期
軸受部門
売上構成比



売上高推移(億円)



なるほど、
ここにも
NTN。



●風車



風力発電

近年、CO₂を排出しないクリーンエネルギーを供給する風力発電が世界的に普及しつつあり、風力発電で使用される軸受（主軸用、増減速機用、発電機用）すべてを製造・販売し、技術的な信頼性と長期の安定保証が各風力発電メーカーから評価されています。

なるほど、
ここにも
NTN。



●CTスキャナ



等速ジョイント

自動車メーカー向け新規案件の量産開始が寄与

欧州、アジア他地域では、主に日系自動車メーカー向けに新規案件の量産開始が寄与したことにより好調でした。また、米州地域では主に米国自動車メーカー向けに、日本では輸出向けや小型車などの新規案件の量産開始が寄与し堅調でした。この結果、売上高は165,071百万円（前期比11.9%増）となりました。

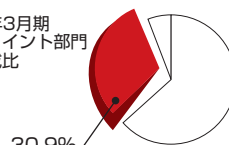
事業解説

等速ジョイントは成長性の高い戦略商品です。また、常に時代をリードする存在として注目されています。2007年2月には生産累計本数が4億本以上となり、日本、米州、欧州、アジア、中国の世界5極体制で、世界中の自動車メーカーに提供しています。

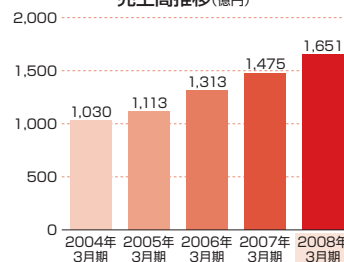
等速ジョイント主要製品

- 自動車用等速ジョイント
ドライブシャフト用
プロペラシャフト用
ステアリング用
- 産業機械用等速ジョイント

2008年3月期
等速ジョイント部門
売上構成比



売上高推移(億円)



CTスキャナ

医療機器であるCTスキャナ用軸受は改良を重ねることで、より静かで正確な撮影が短時間で行えるようになり、検査に負担がかかりやすい幼児やお年寄りでも時間の短縮化により、より安心して検査が受けられるよう、NTNの軸受技術が医療現場でも進化しながら活躍しています。

なるほど、
ここにも
NTN。



●自動車



等速ジョイント

エンジンが発生する動力を、無駄なく等速回転してスムーズにタイヤに伝達するのが等速ジョイントです。等速ジョイントは現代の車に欠かせない部品で、駆動系以外にステアリングにも使われています。大きな角度が取れるため、SUVやミニバンなど車体のノーズが狭い車に使えば室内空間を広げることができます。

クラッチユニット商品やパーツフィーダなどが好調

クラッチユニット商品やパーツフィーダなどが好調で、プラズマディスプレイパネル (PDP) 欠陥修正装置や液晶リペア装置は低調でした。この結果、売上高は30,460百万円(前期比4.7%増)となりました。事務機器から自動車向けまで幅広いクラッチ商品群を有し、近年の自動車向けクラッチ開発に注力した結果、販売は着実に伸びています。また、半導体・液晶・電子機器業界向けを中心とするメカトロ商品などの精密機器商品については事業部制を採用し、主要客先である各業界のスピードの速い技術革新、生産変動に柔軟に対応できる体制を整えています。

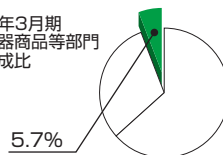
事業解説

このセグメントは先端技術商品や特定分野向けの商品が集合しています。長年にわたってメカトロニクス技術力を高めており、特長のある商品を市場に送り出しています。

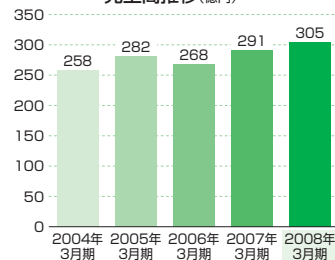
精密機器商品等

- ◎液晶リペア装置
- ◎PDP欠陥修正装置
- ◎パーツフィーダ
- ◎XYテーブル
- ◎磁気軸受スピンドル
- ◎オートテンシヨナ
- ◎精密樹脂部品
- ◎機械器具等

2008年3月期
精密機器商品等部門
売上構成比



売上高推移(億円)



なるほど、
ここにも
NTN。

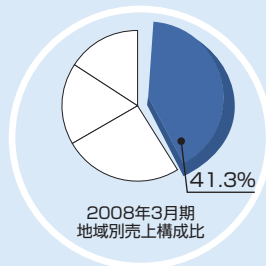
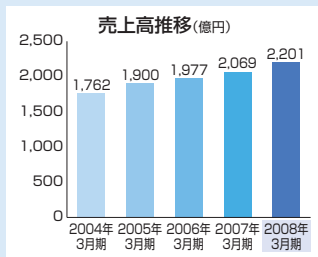
液晶カラーフィルタマルチリペア装置

テレビの液晶ディスプレイの製造工程で発生する欠陥は、主に3種類あり、従来はそれぞれの欠陥修正に適した別々の装置を使用していました。これらの修正機能を1台の装置に集約した業界唯一の装置で、大型化が進むカラーフィルタの生産性・品質の向上や設置面積の減少、修正時間の短縮にも貢献しています。



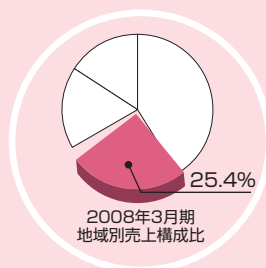
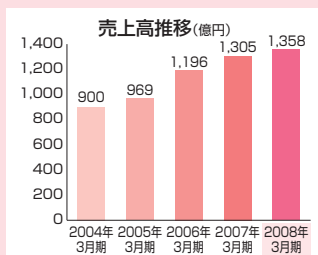
地域別売上高の概況

日本



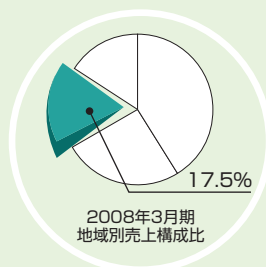
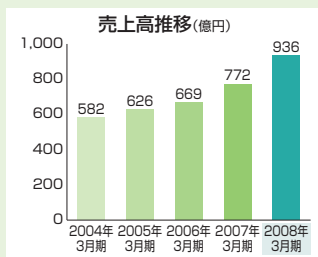
一般産業機械向けは建設機械、風力発電向けなどの大形軸受、自動車向けは等速ジョイントやアクスルベアリングが増加しました。この結果、売上高は220,134百万円(前期比6.4%増)となりました。

米州



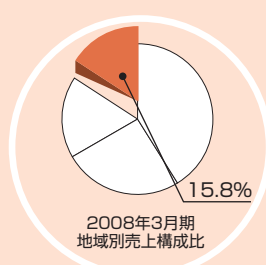
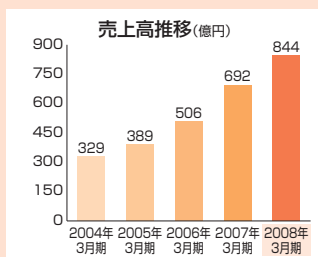
一般産業機械向けは農業機械向け軸受や風力発電向けの大形軸受が好調で、自動車向けは等速ジョイントやアクスルベアリングが増加しました。この結果、売上高は135,808百万円(前期比4.0%増)となりました。

欧州



一般産業機械向けは風力発電向けを中心に大形軸受が好調であり、また代理店向けも増加しました。自動車向けは等速ジョイント、アクスルベアリング、ニードルローラベアリングが好調でした。この結果、売上高は93,623百万円(前期比21.3%増)となりました。

アジア他



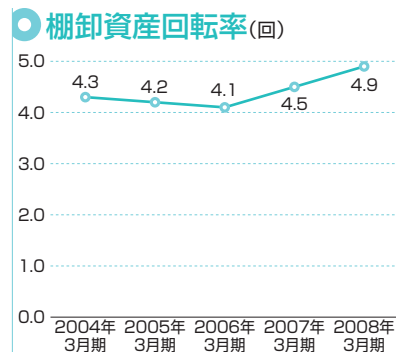
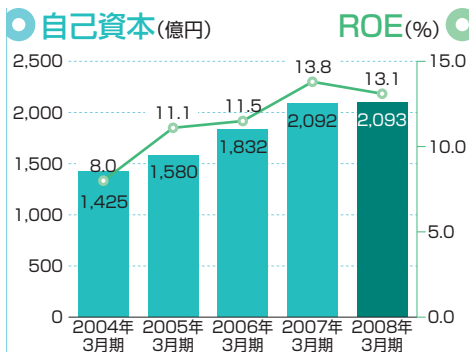
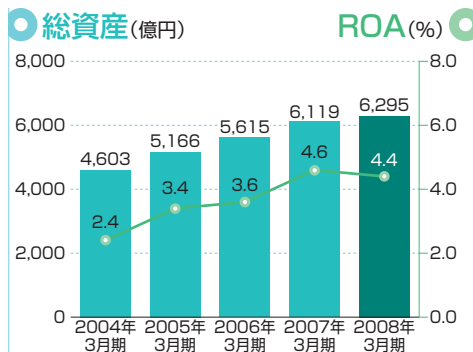
自動車向けは、中国でアクスルベアリング、ニードルローラベアリングが、タイではアクスルベアリング、等速ジョイントが好調でした。また中国では事務機向け軸受が好調であり、代理店向けも増加しました。タイでは流体動圧軸受が大幅に伸びました。この結果、売上高は84,418百万円(前期比22.0%増)となりました。

※従来、中南米を「アジア他」に含めて表示しておりましたが、グループ戦略として重要性が高まることから、従来の「北米」に中南米を加え「米州」として区分表示することに変更しております。

連結財務諸表

科目	当期 (2008年3月31日)	前期 (2007年3月31日)
(資産の部)		
流動資産	281,136	280,048
現金及び預金	28,259	26,085
受取手形及び売掛金	105,223	114,289
たな卸資産	109,969	107,131
その他	37,825	32,672
貸倒引当金	△141	△130
固定資産	348,327	331,896
有形固定資産	273,401	267,441
建物及び構築物	67,092	68,324
機械装置及び運搬具	156,191	150,609
土地	27,122	24,337
建設仮勘定	15,223	15,548
その他	7,772	8,621
無形固定資産	2,727	2,928
投資その他の資産	72,198	61,526
投資有価証券	53,518	45,547
その他	19,347	16,827
貸倒引当金	△667	△849
資産合計	629,464	611,944

科目	当期 (2008年3月31日)	前期 (2007年3月31日)
(負債の部)		
流動負債	300,311	250,625
支払手形及び買掛金	107,499	97,019
短期借入金	108,007	103,021
一年以内償還予定の社債	10,000	—
一年以内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	24,519	—
その他	50,284	50,583
固定負債	112,753	145,503
社債	30,000	40,000
転換社債型新株予約権付社債	—	24,519
長期借入金	40,347	30,371
その他	42,404	50,612
負債合計	413,065	396,129
(純資産の部)		
株主資本	222,076	203,249
資本金	42,339	42,339
資本剰余金	55,410	55,410
利益剰余金	125,048	106,068
自己株式	△722	△568
評価・換算差額等	△12,733	5,987
その他有価証券評価差額金	△1,939	7,862
為替換算調整勘定	△10,794	△1,874
少数株主持分	7,056	6,577
純資産合計	216,399	215,815
負債純資産合計	629,464	611,944



連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	[2007年4月1日から 2008年3月31日まで]	[2006年4月1日から 2007年3月31日まで]
売上高	533,984	483,817
売上原価	421,989	378,260
売上総利益	111,995	105,557
販売費及び一般管理費	62,383	58,764
営業利益	49,611	46,792
営業外収益	5,257	4,351
営業外費用	11,637	8,933
経常利益	43,231	42,210
特別利益	4,073	4,496
特別損失	2,991	1,538
税金等調整前当期純利益	44,313	45,169
法人税、住民税及び事業税	12,259	11,900
法人税等調整額	4,209	6,073
少数株主利益	413	181
当期純利益	27,431	27,014

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	[2007年4月1日から 2008年3月31日まで]	[2006年4月1日から 2007年3月31日まで]
営業活動によるキャッシュ・フロー	66,263	58,485
投資活動によるキャッシュ・フロー	△83,548	△72,185
財務活動によるキャッシュ・フロー	15,606	10,921
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,132	△1,029
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	453	△3,808
現金及び現金同等物の期首残高	32,083	35,891
現金及び現金同等物の期末残高	32,536	32,083

連結株主資本等変動計算書(要旨)

(2007年4月1日から2008年3月31日まで)

(単位:百万円)

科目	株主資本					評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
2007年3月31日残高	42,339	55,410	106,068	△568	203,249	7,862	△1,874	5,987	6,577	215,815
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△8,451		△8,451					△8,451
当期純利益			27,431		27,431					27,431
自己株式の取得				△171	△171					△171
自己株式の処分				17	17					17
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						△9,801	△8,919	△18,721	479	△18,242
連結会計年度中の変動額合計	-	-	18,979	△153	18,826	△9,801	△8,919	△18,721	479	583
2008年3月31日残高	42,339	55,410	125,048	△722	222,076	△1,939	△10,794	△12,733	7,056	216,399

売上高

Point

前期比10.4%増
(502億円の増収)

特に欧州(前期比21.3%増)、アジア他
(前期比22.0%増)での販売が好調。

営業利益

Point

前期比6.0%増
(28億円の増益)

販売増やコスト削減の推進などの増益要因
により販売価格の低下の影響等をカバー。

経常利益

Point

前期比2.4%増
(10億円の増益)

個別財務諸表

貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	(2008年3月31日)	(2007年3月31日)
(資産の部)		
流動資産	185,004	182,178
固定資産	265,150	244,174
資産合計	450,154	426,352
(負債の部)		
流動負債	188,897	129,017
固定負債	84,445	119,617
負債合計	273,342	248,634
(純資産の部)		
株主資本	178,763	169,881
資本金	42,339	42,339
資本剰余金	55,410	55,410
利益剰余金	81,735	72,700
自己株式	△722	△568
評価・換算差額等	△1,951	7,836
その他有価証券評価差額金	△1,951	7,836
純資産合計	176,812	177,718
負債純資産合計	450,154	426,352

損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	[2007年4月1日から 2008年3月31日まで]	[2006年4月1日から 2007年3月31日まで]
売上高	359,856	336,839
売上原価	299,014	274,391
売上総利益	60,842	62,447
販売費及び一般管理費	41,940	39,664
営業利益	18,901	22,783
営業外収益	10,285	9,914
営業外費用	4,702	3,278
経常利益	24,483	29,419
特別利益	4,073	4,025
特別損失	2,229	876
税引前当期純利益	26,327	32,568
法人税、住民税及び事業税	5,979	8,968
法人税等調整額	2,861	2,505
当期純利益	17,486	21,095

株主資本等変動計算書(要旨)

(2007年4月1日から2008年3月31日まで)

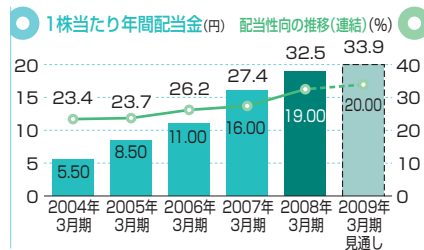
(単位:百万円)

科目	株主資本					評価・換算差額等 その他有価証券評価差額金	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
2007年3月31日残高	42,339	55,410	72,700	△568	169,881	7,836	177,718
当事業年度中の変動額							
剰余金の配当			△8,451		△8,451		△8,451
当期純利益			17,486		17,486		17,486
自己株式の取得				△171	△171		△171
自己株式の処分				17	17		17
株主資本以外の項目の 当事業年度中の変動額(純額)						△9,787	△9,787
当事業年度中の変動額合計	—	—	9,035	△153	8,881	△9,787	△905
2008年3月31日残高	42,339	55,410	81,735	△722	178,763	△1,951	176,812

point 配当に関する方針

当期3月期末配当金
1株当たり金10円
(当期年間配当金
1株当たり金19円)

当社は、株主の皆様に対する利益還元を最重要方針の一つと考えています。配当につきましては、中長期的な視点から安定的に配当を継続することを基本として、連結業績、配当性向などを勘案して決定することとしております。この方針に従い、当期の1株当たり年間配当金は、前期比3円増配の金19円（うち9円は中間配当金として支払い済、期末配当金にSNR社子会社化に伴う記念配当1円含む）とさせていただきます。



地球環境との共生

環境への取り組み

〔基本理念〕

私達NTNグループは地球環境との共生を最重要課題に掲げ、環境への負荷低減及び循環型社会の構築を目指し、社会の調和ある発展に貢献できるよう、不断の努力を行います。

〔行動指針〕

私達NTNグループは、軸受・等速ジョイント・精密機器商品等の製造・販売事業を展開するに際し、その事業活動や製品・サービスが環境に及ぼす負荷を継続的に低減し、将来にわたって良好な環境を維持できるよう、環境保全に努めます。

「環境に配慮した製品の開発」

長寿命化

近年、鉄道は環境に優しくエネルギー消費が少ない大量輸送手段として見直されています。

NTNが新たに開発した「鉄道車両用軸受」は、保持器やシールに新技術を適用して長寿命化を図り、軸受のメンテナンス周期を従来の2倍に延長しました。



軽量化

環境問題が大きく取り上げられるなか、自動車においても燃費の向上につながる軽量化や、製造時の材料使用量の削減が求められています。NTNは、従来品よりも軽量化を図るとともに、加工時の材料使用量を20%削減した「省資源仕様軽量ハブベアリング」を開発しました。



小型化

低トルク

環境に配慮した
製品の開発

軽量化

長寿命化

地球環境との共生

グリーン調達

EU規制の厳守

製品中の
有害物質使用の削減

鉛レス

クールビズ

省エネ

地球温暖化の
防止

緑化活動

自然エネルギーの活用

CO₂削減

ゼロエミッション

ISO14001
環境経営の
推進

エコステージ

取引先支援

循環型社会の構築

リサイクル

研削スラッジ固形化

会社情報

■ 当社の概要 (2008年3月31日現在)

社名	NTN株式会社
商標	NTN
創業	1918年3月
設立	1934年3月
資本金	423億円
従業員	5,400名(連結:18,960名)
事業内容	軸受、等速ジョイント、 精密機器商品等の製造及び販売

● 主な事業所

本社	大阪市西区京町堀1丁目3番17号
【自動車商品本部】	
関東自動車支店	東京都品川区西五反田7丁目22番17号
宇都宮自動車支店	栃木県宇都宮市馬場通り2丁目1番1号
北関東自動車支店	群馬県太田市東本町22番31号
東海自動車支店	愛知県安城市三河安城町1丁目4番地4
浜松自動車支店	静岡県浜松市中区板屋町110番地の5
大阪自動車支店	大阪市西区京町堀1丁目3番17号
広島自動車支店	広島市南区的場町1丁目2番19号

【産機商品本部】

東北支店	仙台市青葉区本町1丁目5番28号
東京支店	東京都品川区西五反田7丁目22番17号
西関東支店	神奈川県相模原市中央3丁目14番7号
名古屋支店	名古屋市中区栄3丁目2番3号
大阪支店	大阪市西区京町堀1丁目3番17号
広島支店	広島市南区的場町1丁目2番19号
九州支店	北九州市小倉北区上到津2丁目4番19号
桑名製作所	三重県桑名市大字東方土島2454番地
磐田製作所	静岡県磐田市東貝塚1578番地
岡山製作所	岡山県備前市畠田500番地の1
宝塚製作所	兵庫県宝塚市東洋町2番1号
長野製作所	長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪14017-11

■ 役員 (2008年6月27日現在)

取締役会長 (代表取締役)	鈴木 泰信	執行役員	マルチン	クライト
取締役社長 (代表取締役)	近藤 達生	執行役員	戸林	司敏徳
取締役副社長 (代表取締役)	森 博嗣	執行役員	木川	章重保
専務取締役 (代表取締役)	加藤 忠	執行役員	若林	英一誠
専務取締役 (代表取締役)	加藤 直彦	執行役員	小安	由一信
専務取締役	藤村 直健	執行役員	田辺	重治仁
常務取締役	岡村 善一	執行役員	本間	正志治
取締役	加藤 重田	執行役員	橋本	繁福松
取締役	重田 裕治	執行役員	米谷	内健義
取締役	吉川 雅壽	執行役員	堀内	木重
取締役	川端 瑞雄	執行役員	ディエ	カヨ治
常勤監査役	今引 野忠	執行役員	フィリップ	加藤
常勤監査役	加護 忠	執行役員	高井	高井
監査役	石井 教	執行役員		

※1印は会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
※2印は会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

会計監査人 新日本監査法人

■ 主な関係会社 (2008年3月31日現在)

● 主な連結子会社

株式会社NTN金剛製作所
NTN精密樹脂株式会社
株式会社NTN三重製作所
株式会社NTN袋井製作所
NTN USA CORP.(アメリカ)
NTN BEARING CORP. OF AMERICA(アメリカ)
NTN DRIVESHAFT, INC.(アメリカ)
AMERICAN NTN BEARING MFG. CORP.(アメリカ)
NTN-BOWER CORP.(アメリカ)
NTN-BCA CORP.(アメリカ)
NTN BEARING CORP. OF CANADA LTD.(カナダ)
NTN Wälzlager(Europa)G.m.b.H.(ドイツ)
NTN Kugellagerfabrik(Deutschland)G.m.b.H.(ドイツ)
NTN TRANSMISSIONS EUROPE(フランス)
恩梯恩(中国)投資有限公司(中国)
上海恩梯恩精密機電有限公司(中国)
恩梯恩日本電産(浙江)有限公司(中国)
NTN BEARING-SINGAPORE (PTE) LTD.(シンガポール)
NTN MANUFACTURING (THAILAND) CO., LTD.(タイ)

● 主な持分法適用関連会社

SNR ROULEMENTS(フランス)
IFA-Antriebstechnik G.m.b.H.(ドイツ)
東培工業股份有限公司(台湾)
台惟工業股份有限公司(台湾)

○ ホームページのご案内 ○

NTNのホームページでは、株主・投資家の皆様向けに企業情報や財務情報を豊富に掲載しています。最新のトピックスを随時更新し、CSR活動への取り組みや技術関連情報、企業広告の紹介など、幅広い内容となっています。NTNをより深くご理解いただくため、ぜひご覧ください。

<http://www.ntn.co.jp>



▲ 株主・投資家情報 (Investors)



▲ 社会的責任報告書 (CSR Report)

株式情報

株主数及び株式数 (2008年3月31日現在)

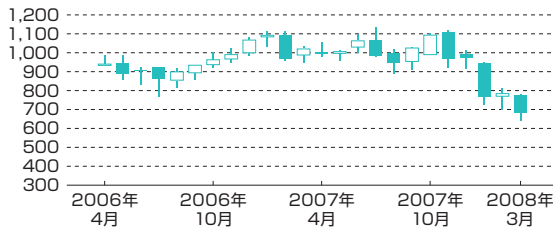
- 株主数 25,411名
- 発行済株式数 470,463,527株

大株主 (2008年3月31日現在)

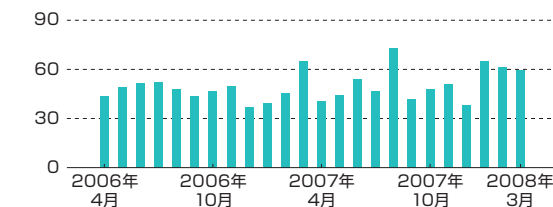
株主名	所有株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	40,606	8.63
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	34,842	7.40
第一生命保険相互会社	23,278	4.94
明治安田生命保険相互会社	22,467	4.77
株式会社三菱東京UFJ銀行	21,674	4.60
三菱UFJ信託銀行株式会社	11,870	2.52
東京海上日動火災保険株式会社	11,653	2.47
日本生命保険相互会社	11,507	2.44
NTN共栄会	8,318	1.76
ザバンクオブニューヨークジャスティックリーティアーアカウント	7,872	1.67

株価の推移

● 株価(円)

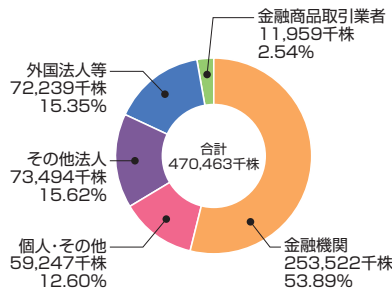


● 出来高(百万株)

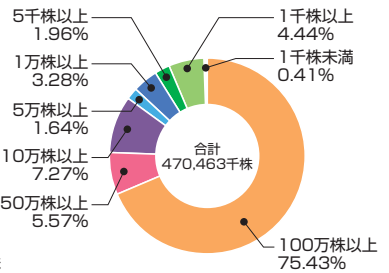


株式分布状況 (2008年3月31日現在)

● 所有者別



● 所有株数別



株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
 - 定時株主総会 事業年度終了後3か月内
 - 基準日 毎年3月31日の最終の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された株主をもって、その事業年度に関する定時株主総会において権利を行使することができる株主とします。その他必要あるときは、あらかじめ公告して、基準日を定めます。
 - 剰余金の配当 受領株主確定日 3月31日
 - 中間配当 受領株主確定日 9月30日
 - 公告方法 電子公告
ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載の場合のホームページアドレス
《<http://www.ntn.co.jp>》
 - 株主名簿管理人 〒100-8212 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
 - 株主名簿管理人事務取扱場所 (お問い合わせ先) 〒530-0004 大阪市北区堂島浜1丁目1番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話(通話料無料) 0120-094-777
 - 同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 野村證券株式会社 全国本支店
- 株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。
電話(通話料無料) 0120-244-479(本店証券代行部)
0120-684-479(大阪証券代行部)
インターネットホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>



青い地球と、ベアリング。

ベアリングは、あらゆる機械の回転部分において、
エネルギー損失を低減する「エコ部品」。

地球環境との共生のために。

私たちは未来に向けた「もの造り」の可能性を追求し続けます。

「NTNブルー」は「エコロジー・ブルー」

NTN®

上の写真は、「絶滅危惧種」に指定されている動物たち。その絶滅の大きな原因の1つが、人間がもたらした環境の変化。動物たちが安心して暮らせる青い地球を守るため、私たちNTNは、製品を通して地球環境保護活動に取り組んでいます。

私たちNTNは「もの造り」の過程において、また従業員ひとりひとりが環境保護に参加する手段として「NTN環境家計簿」を作成して全従業員に配布し、ガス・電気などの使用量を毎月記入することにより省エネを意識してCO₂を削減し、地球環境との共生に取り組んでいます。



NTN環境家計簿



地球環境に配慮した大豆油インキを使用しています。